



Sun Java™ System Application Server Platform Edition 9.0

最新のJava EE 5に完全対応の無料アプリケーション・サーバ



業界で初めてのJava™ Platform, Enterprise Edition(Java EE)5仕様に準拠したSun Java System Application Server Platform Edition 9.0は、無料で利用可能な初の商用アプリケーション・サーバで、Java EE 5 Reference Implementationと同じチームによって開発されています。このことはJava EE仕様への厳格な準拠と、Web Services Interoperability Profiles(WS-I)による相互運用性を備えたWebサービスの提供が可能であることの裏付けでもあります。また、Sunがリードして進めるアプリケーション・サーバのオープンソース・コミュニティ、「GlassFish」をベースにしております。

Java EE 5は、エンタープライズ向けJavaアプリケーションの開発を劇的に簡素化することを目指して、特にWebサービスやトランザクション系コンポーネント等の強化が図られ、開発者の方々が、堅牢かつスケラビリティのあるJavaアプリケーションやSOA、Web 2.0に対応するアプリケーションを開発する上で最適なプラットフォームです。Sun Java System Application Server Platform Edition 9.0は、Java EE 5 SDKの一部としても提供され、無償にて開発 / 運用において利用可能です。さらに、必要に応じて別途有償にてサポート・サービスを提供いたします。

Highlights

- 無償で開発 / 運用 / 再配布が可能
- 迅速な開発を可能にする様々な機能を備えたEnterprise JavaBeans™ (EJB™) 3.0やJavaServer™ Faces 1.2など、先進のJava EE 5テクノロジーで開発環境を活性化し、生産性を向上
- SOAやWeb 2.0アプリケーションの基盤を提供
- NetBeans™との完全な統合を実現。さらにプラグインを利用し、Eclipseとの親和性も提供
- オープンソース・プロジェクトであるGlassFishがベース

ダウンロード

下記URLより今すぐダウンロードしてください。
<http://java.sun.com/javaee/downloads/>

Java EE 5プラットフォームのサポート

Java EE 5プラットフォームは開発の容易性に最も焦点を当てています。よりシンプルでより簡単なコーディングを可能にし、セキュアで移植性と拡張性に優れた企業アプリケーションのためのプラットフォームを開発者に提供するのがJava EE 5プラットフォームです。Sun Java System Application Server Platform Edition 9.0はJava EE 5仕様で求められている全てのテクノロジーを提供しています。

- 新しく2つのAPIセットを提供するEnterprise JavaBeans(EJB)3.0:開発を容易にし一貫性とオブジェクト / リレーション・マッピングを管理するための2つのAPIを新しく提供
- アノテーションを挿入できるため開発中に2つのファイルを編集 / 保守する必要がなくなり、開発者の生産性を向上
- JavaServer Faces 1.2の明確に定義されたコンポーネント / ステータス / イベント・フレームワークが、Webベース・アプリケーションのインタフェース構築を簡素化
- Ajax(Asynchronous JavaScript™ And XML)との高い親和性を備えているJavaServer Facesテクノロジーは、ブラウザ間における挙動の差異を吸収し、JavaScriptテクノロジーに関連した複雑な環境を

隠蔽することが可能。

- "Java BluePrints Solutions Catalog" for Java EE 5では、Java EEプラットフォームにおけるAjaxアプリケーションの設計 / 開発で遭遇する一般的な問題を取り上げ、そのソリューションを提供。同カタログには、Sun Java System Application Server Platform Edition 9.0で利用できるJavaServer FacesとAjaxコンポーネントを複数収録

SOA基盤の提供と開発者の生産性を向上

Sun Java System Application Server Platform Edition 9.0は簡素化された新しいJava EE 5 API、そして劇的にコード量を削減可能なアノテーションによって開発者の生産性を向上します。

Java EE 5 SDKの一部として組み込まれているSun Java System Application Server Platform Edition 9.0は、最新のエンタープライズJavaテクノロジーを開発者が速やかに理解でき、開発と実装に役立てることが可能なオールインワン・パッケージになっています。Java EEのSDKは、これまでに400万人以上の開発者がダウンロードしています。Java EE 5 SDKは、Ajaxなどのテクノロジーを利用しWeb 2.0アプリケーションを開発するために必要なブループリント / サンプル / ガイドラインを提供します。

Sun Java™ System Application Server Platform Edition 9.0

また、このSDKにはOpen Enterprise Service Bus (ESB) Starter KitとJava Business Integration (JBI)、Business Process Execution Language (BPEL) エンジン、さらにSimple Object Access Protocol (SOAP) HTTPバインディングが含まれています。これらにより、SOAコンポーネントの開発 / Web サービス・スタックの管理 / フェデレーテッド・アイデンティティ管理システム・フレームワークを実現するための機能を提供し、複雑な複合化アプリケーション向けのランタイム環境の構築も可能になります。またSun Java System Application Server Platform Edition 9.0にはApache DerbyデータベースをベースにしたJava DBもバンドルされているため、包括的なJava EEアプリケーションの開発と実装も可能です。実装を更に容易にするために、オンデマンドでインシャライズし迅速に起動させるためのオプションや、メモリ要件を低く抑えるオプションも用意されています。

オープンソースとGlassFishコミュニティ

Sun Java System Application Server Platform Edition 9.0のソースコードはオープンソースのProject GlassFishから輩出されたものです。Project GlassFishは、Open Software Initiative (OSI) Common Development and Distribution License (CDDL) に基づいて配布されています。Project GlassFishのコミュニティには1,000人以上の開発者が参加しており、ディスカッション・フォーラム / メーリング・リストを利用し、不具合のファイリング / 公募による機能の拡張提案 / ソースコードの変更依頼など活発な活動を続けています。

パフォーマンス

Sun Java System Application Server Platform Edition 9.0では、迅速な起動 / メモリ要件の低減 / 実装パフォーマンスの改善などにより、ランタイム環境をパフォーマンスを向上しています。この中には、極めて優れた拡張性を持つローレベルのJava Native Input Output (NIO) プリミティブであるHTTPコネクション・ハンドラが含まれており、無数のコネクションを少数のスレッドで処理することが可能です。Sun Java System Application Server Platform Edition 9.0では、XMLやSOAPメッセージの容量と処理時間を短縮可能なFastInfoset利用することができ、XMLメッセージの容量に応じて処理速度は3倍～5倍、メッセージ容量を1.3～5分の1の容量に削減することが可能です。さらに、Solaris™ OS上で稼動するSun Java System Application Server Platform Edition 9.0は64bitをサポートしており、4GB以上の仮想アドレス空間へのアクセスが可能です。

Java EE 5開発環境

- 標準化されたJava EE 5実装APIをサポート
- NetBeans 5.5ソフトウェアの統合開発環境をサポート
- Web services Metadata for the Java Platform 2.0
- Java API for XML-based Web Services (JAX-WS) 2.0
- Java Architecture for XML Binding (JAXB) 2.0
- Streaming API for XML (StAX) 1.0
- EclipseやBorland JBuilderなど、サードパーティ製の統合開発環境をサポート

プラットフォームとシステム要件

オペレーティング・システム

- Solaris 10 OS on SPARC®
- Solaris 9 OS on SPARC
- Solaris 10 OS on x86
- Solaris 9 OS on x86
- Microsoft Windows 2000 / 2003 / XP
- Red Hat Enterprise Linux 3, 4

サポート・データベース・サーバ

- Oracle® 8i / Oracle 9i / Oracle 10g
- Microsoft SQL Server 2000
- Sybase 12.5
- IBM DB2 8.1
- Derby 10.1.1 Embedded
- J2EE™ 1.4互換

システム要件

- メモリ (最小): 256MB (構成により異なります)
- ディスク容量 (最小): 250MB

詳細

Sun Java System Application Server Platform Edition 9.0の詳細については、jp.sun.com/software/ をご覧ください。

システム要件など、最新の詳細情報は、リリースノート docs.sun.com/ をご覧ください。

サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話(03)5717 5000(代)
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話(03)4232 2400(代)
中部支社	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-14-4	エグゼクの内507	電話(052)203 1233(代)
大阪支社	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話(06)6265 5700(代)
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル3F 308	電話(092)834 0101(代)
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話(0298)51 2210(代)
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話(0565)25 5701(代)
ホームページ	http://jp.sun.com/		

Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 USA Phone 1-650-960-1300 or 1-800-555-9SUN Web sun.com

© 2006 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク, Java, Java Coffee Cupのロゴマーク, JavaBeans, JavaServer, NetBeans, JavaScript, J2EE, EJB, GlassFish, Solarisは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。すべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標がつけられた製品は、米国Sun Microsystems, Inc.が開発したアーキテクチャに基づいたものです。ORACLEは、Oracle Corporationの登録商標です。本文中に記載の各社の社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

資料の内容は、お断りなしに変更することもありますのでご了承ください。

